

政務活動一覧

議員名 森 雅幹

| 年月日 | 活動先 | | | 政務活動の内容 | 関連 領収書番号 |
|---------------|-------|--------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------------------|
| | 住所 | 活動先の名称 | 対応者 | | |
| 4/16～ 6/26 | オンライン | 東工大社会人アカデミー | | 東工大社会人アカデミー 「環境科学」受講 | 4-3 |
| 5/20,21 | オンライン | 日本自治創造学会研究大会 | | 日本自治創造学会研究大会にオンラ インで参加 | 4-5 |
| 5/14 | 米子市 | 米子ワシントンホテル | 連合鳥取役員 | 連合推薦支持議員団会議出席 | 5-3 |
| 8/10 | オンライン | 地方議員交流研修会 | | 第17回全国地方議員交流研修会にオ ンラインで参加 | 7-18 |
| 9/1 | 鳥取市 | 議会別棟 | 県執行部 | 政調政審 | 9-1 |
| 11/13 | 神奈川県 | 東京農大 厚木キャンパス | | 実践シンポジウム「未来の地域の 担い手を育てる」受講 | 11-3,11-4 ,11-5,11-6 ,11-7,11 |
| 11/24 | 鳥取市 | 県庁 | 副知事 | 副知事との意見交換 | 11-9 |
| 11/26 | 境港市 | 境港みさき会館ほか | 境港水産事務所 所長ほか | 水産議連県内調査 | 3-15 |
| 1/22 | 東京 | 東京都美術館 | 都美術館学芸員 | とびらプロジェクトフォーラムに参 加 | 1-6,1-7,1-8 |
| 3/4 | 米子市 | だんだん広場 | 連合西部議長ほか | 春闘集会参加 | 3-2 |
| 3/18 | 米子市 | 安田弁護士事務所 | 安田弁護士 | 原発住民投票運動について意見交換 | 3-6 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

| | |
|---------|---|
| 活動事項 | 実践シンポジウム 「未来の地域の担い手を育てる」 受講 |
| 活動年月日 | 2021年11月13日 |
| 場所 | 神奈川県厚木市船子 1737 東京農業大学 厚木キャンパス トリニティホール |
| 活動の相手方 | 東京農大 |
| 活動の目的 | シンポジウムに参加し、「担い手不足、育成」について知識を習得し鳥取県政に生かしていく。 |
| 活動の内容 | <p>○挨拶：学会長、厚木市長、JA あつぎ組合長、東京農業大学学長</p> <p>○基調講演「未来の地域の担い手育成について」 植村春香（NPO 法人農業情報総合研究所 理事長）</p> <p>○シンポジウム：座長解題</p> <p>第1報告 「田んぼの学校」の取り組み 塩田由紀子（福島県矢吹町役場商工推進課地域活性係）</p> <p>第2報告 「厚木夢未（ゆめみ）キッズの取り組み」 井上美晴（JA あつぎ 組織文化部生活ふれあい課）</p> <p>第3報告 「ひまわり交流事業」の取組 ～小さな商店街の小さな友達づくり～ 戸津信義（相武台南口商店会） サークル「ひまわりのタネ」（あすなる大学）</p> <p>○パネルディスカッション</p> <p>○座談会 司会：御手洗洋蔵（東京農業大学助教） 加藤春幸（座間洋らんセンター） 小笠原直樹（神奈川県立相原高等学校教諭） 吉川貴博（湘南きゅうり園）</p> |
| 活動の結果等 | <p>農業だけでなく、商店街、子ども・若者等様々な担い手育成について取り組まれている現状について勉強させていただいた。</p> <p>特に相武台南口商店会の取り組みは興味深く、日産座間工場や大型施設が閉鎖となったのちの商店会復活へ、ヒマワリという題材を使って子どもたちをとおした感動的な取り組みだった。地域の子もたちと学校の先生ではない地域の大人とが、顔見知りになり一緒に活動している姿こそ、今の日本に、鳥取県医必要なことではないかと強く感じた。</p> <p>是非、鳥取県内でこのような活動を広めたい。</p> |
| 関連領収書番号 | 11-3、11-4、11-5、11-6、11-7、11-8 |

活動報告（県外・国外）

議員名：森 雅幹

| | |
|---------|--|
| 活動事項 | とびらプロジェクトフォーラム |
| 活動年月日 | 2022年1月22日 |
| 場所 | 東京都台東区上野公園 8-36 東京都立美術館 |
| 活動の相手方 | 東京都立美術館 |
| 活動の目的 | とびらプロジェクトフォーラムに参加し、新しくできる県立美術館における館とボランティアの在り方を探る。 県立美術館のアドバイザー委員会委員であった稲庭彩和子氏と面談し、改めてアドバイスを得る。 |
| 活動の内容 | <p>○トークセッション</p> <p>西村佳哲 プランニング・ディレクター/リビングワールド代表/とびらプロジェクトアドバイザー 稲庭彩和子 東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長/とびらプロジェクト マネジャー アートコミュニケーター（ボランティア）</p> <p>○パネルディスカッション</p> <p>日比野克彦 東京藝術大学美術学部長/岐阜県美術館 館長/とびらプロジェクト代表教員 森 司 アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長/とびらプロジェクトアドバイザー 西村佳哲 プランニング・ディレクター/リビングワールド代表/とびらプロジェクトアドバイザー 稲庭彩和子 東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長/とびらプロジェクト マネジャー 伊藤達矢 東京藝術大学社会連携センター特任准教授/とびらプロジェクト マネジャー</p> |
| 活動の結果等 | <p>都立美術館のボランティアである「とびらー（アートコミュニケーター）」の「とびらプロジェクト」の10年を振り返りながら今後の在り方を議論された。そこでは、「とびらー」は都美のボランティアであるが感からの一方的なお願いをを行うボランティアではなくて、自律的に館及びとびらーにプラスになる活動を自主的に行うボランティアとして任期3年で活動が10期を迎え、10年か続いている活動もあるが、新たな活動も生まれている。特に、とびらーをアートコミュニケーターとして養成し新たな役割を担っている。また卒業生が多くの美術館で活躍している等の報告を受けた。</p> <p>また、稲庭氏からは県立美術館「美術ラーニングセンター」の在り方等についてアドバイスをいただいた。</p> <p>ボランティアの育成にはコンセプトが必要でまた時間がかかる。また、官からの一方的なお手伝いボランティアでは意味がないこと、館とボランティアとの真の協働が必要だと学んだ。</p> <p>ぜひとも、県立美術館へ生かしていきたい。</p> |
| 関連領収書番号 | 1-6、1-7、1-8 |